

つなぐ



<設立状況(30.2.1) 全41地区中>
 まちづくり協議会 23(25 地区)
 まちづくり協議会準備会 3(3地区)

発行 : 松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-3157

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/machidukuri.html>

Vol.17



五明地区まちづくり協議会

五明の里 生活博物館展



伊予万歳の顔出し
 パネルも用意され、
 伊予万歳を体験し
 たことのない人も
 楽しめるようにな
 っていました。



地元の方々の個性
 あふれる作品が並
 び、来場者の目を楽
 ませていました。



平成29年12月26日(火)から平成30年1月21日(日)の間、より多くの人に五明地区の魅力を幅広く発信しよう、坂の上の雲ミュージアムで「五明の里 生活博物館展」が開催されました。

会場には、五明地区まちづくり協議会と地域おこし協力隊が、史跡や文化、人材といった地域の「宝」をまとめた「お宝マップ」や、住民の方々の絵画や陶芸、手芸、木工芸、写真のほか、地元の芸術家が制作した「五明の立体図」や「伊予万歳のオブジェ」など、数多くの作品が展示され、来場者は興味深く眺めていました。

さらに、1月20日(土)には「新春オカリナコンサート」も開催し、50名を超える来場者は五明地区の魅力に包まれながら、オカリナのきれいな音色に癒されました。

(今回展示された作品の一部は、五明地区の古民家を改修したギャラリー「ふれ愛の館」で展示されています。)

第3回 11月28日（火）

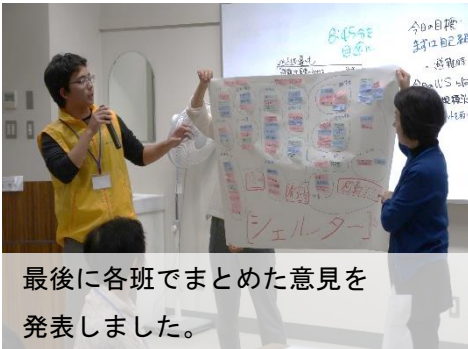
はじめに、NPO 法人えひめイヌ・ネコの会代表 高岸さんより「ペットとの同行避難」についてご講演いただきました。ペットに対する災害ボランティアができるまでの経緯や、平常時からのペット防災に対する備えについてお話しいただきました。

次に、愛媛大学の前田先生をお招きし、ペットとの防災について考えるグループワークを行いました。愛媛大学防災リーダークラブの学生にも参加していただき、平常時・発災時・避難時の行動について一緒に考えました。

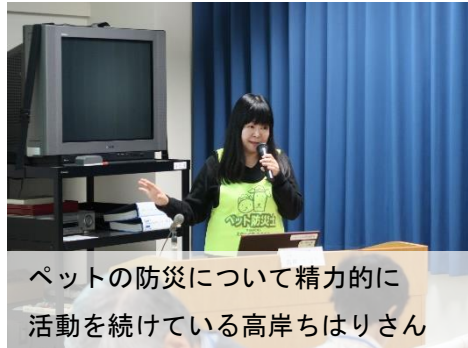
各班からは、平常時の備えや飼い主と避難所運営側の話し合いが大切であるという意見が出されました。



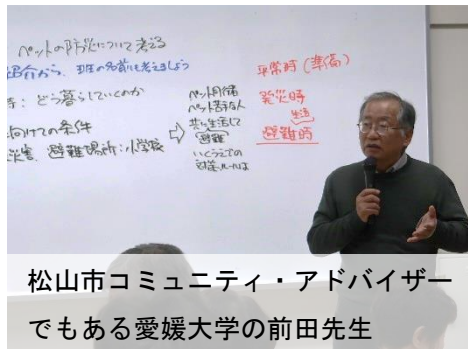
避難所でのペットの扱い方について各班で意見を出し合いました。



最後に各班でまとめた意見を発表しました。



ペットの防災について精力的に活動が続けている高岸ちはりさん



松山市コミュニティ・アドバイザーでもある愛媛大学の前田先生



要支援者の支援について熱く語る 蔭原会長



要支援者の台帳作成の苦労話を、熱心に聞く受講者



講義前には自己紹介をして緊張をほぐしました。



市民参画まちづくり課より「まちづくり協議会」について説明。

第4回 12月5日（火）

松山市危機管理課による、避難所運営ゲーム（HUG）を実施しました。HUG とは、避難所で起こる出来事に対応することで、避難所運営を疑似体験するゲームです。

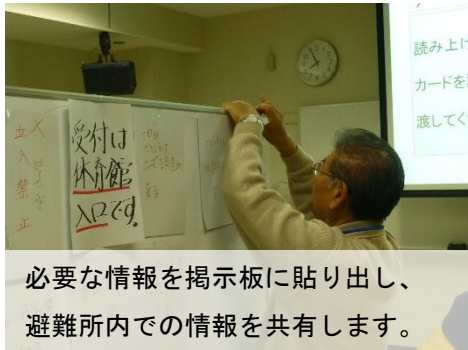
多くの受講者が初めて体験するため、次々とやってくる避難者の受け入れに最初は戸惑っていましたが、第3回に引き続いて参加した愛媛大学防災リーダークラブの学生にご協力いただき、掲示板を活用しながら読み上げられる情報を共有し、迅速かつ適切な避難所運営を学びました。

講義終了後には受講者全員で記念撮影を行い、約1ヶ月間に渡るセミナーが終了しました。

受講生のみなさんの地域での活躍を期待します！



避難者の受け入れなどを真剣に話し合い、避難所の運営方法を考えます。



必要な情報を掲示板に貼り出し、避難所内での情報を共有します。



ゲーム終了後、他の班の結果を見比べ、運営方法の違いを確認しました。

【受講者より】

セミナーを通して日頃からの備えの大切さを実感しました。

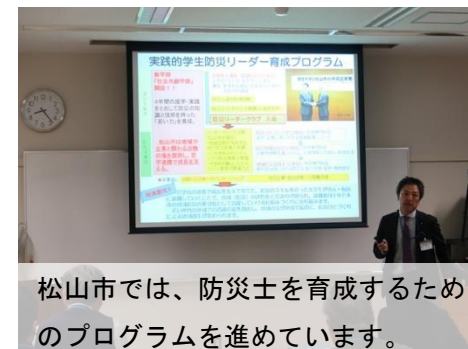
HUG も初めて体験しましたが、掲示板の活用方法などをゲームで学べて楽しかったです。



最後に記念撮影

地域づくり支援セミナー

今年度は「地域でできる防災・減災」をテーマに4回の講義を行いました。まちづくり協議会の方や防災に関心のある一般の方、愛媛大学の学生など25名が参加し、講義やグループワークなどを通じて地域でできる防災・減災への取り組みについて考えました。



松山市では、防災士を育成するためのプログラムを進めています。



日頃の備えについて語る高橋先生



地図を見ながら松山の断層について詳しく学びました。



松山市と愛大が協働して作成した防災マップ。点字版、音声版も作成されています。



第1回 11月14日（火）

はじめに、市民参画まちづくり課より「地域におけるまちづくり」と題し、住民主体のまちづくりについて、まちづくり協議会の設立や活動内容など紹介しながら説明しました。

次に、高浜地区自主防災連合会の蔭原会長より「高浜地区の防災の取り組み」についてご講演いただきました。

高浜地区は平成19年度に愛媛県のモデル事業で要支援者調査を実施しました。当初、調査は住民の理解が得られにくく難航しましたが、調査の必要性を書いた説明文を添えることで理解が得られ、多くの住民から調査票を回収して台帳を作成することができました。

また、台帳の情報を落とし込んだ支援マップも作成したり、若い担い手を育成するために小学校や中学校と連携した避難所運営訓練も実施したりしています。

第2回 11月21日（火）

まず、愛媛大学の高橋先生より、専門の地質学の研究に基づいた地震のメカニズムや被害予測、コミュニティの大切さについて、ユーモアを交えながら分かりやすくご講演いただきました。

震度7以上の地震になると、人は地震の揺れではなく、物の下敷きになってケガをするため、家具を固定しておくことが大切です。平常時からの備えの重要性を改めて感じました。

次に松山市消防局地域防災課より、松山市の取り組みや松山市と愛媛大学との連携事業について説明しました。

松山市は全国と比べ防災士養成講座の受講料が安いと、防災士が多く輩出されています。その中には学生も多く、若い力が地域の防災力アップにつながっています。

まちづくり協議会交流会を開催しました



【感想】

◎まち協の広報手段で悩んでいたが、HPやSNSを有効に活用している地区があったので、参考にしたい。

◎1回の話し合いの時間が長くなったので、たくさんの意見を聞くことができた。

12月19日（火）、まちづくり協議会が一堂に会し、各地区の活動や悩みごとなどを話し合う「まちづくり交流会」を開催しました。会場には役員や部員、事務員など、総勢80名が集まり、12グループに分かれて45分×2回の意見交換を行いました。

協議会の運営方法や、人材の取り込み方、広報紙の作成・配布方法のほか、昨年9月に発生した台風18号の影響から、防災の取り組み方や自主防災組織との連携方法などについても活発に意見が交わされました。

松山市コミュニティ・アドバイザーからは、「地域の人で団結し、それぞれが知恵を出し合えば、まちづくりの輪は広がる」「地域で共通の目標を持ち、情報共有を促進してほしい」などの講評をいただきました。

まち協でもSNS活用中！

まちづくり協議会でSNSやホームページを有効に活用し、地区の情報を発信しているところがあります。これらを用いることで、地元以外の人にも情報を発信することができ、地区のPRにもつながります。

まだSNSやホームページを活用していない地区で、「活用してみたいけど、やり方がわからない」という地区がありましたら、職員がサポートさせていただきますので、地区の担当職員までお気軽にご相談ください。



フェイスブック
【Facebook】



インスタグラム
【Instagram】



ツイッター
【Twitter】



インフォメーション

つなぐに載せきれなかった各まち協の活動を、フェイスブックページ「松山市まちづくり協議会情報局」で紹介しています。

職員が参加できなかった活動でも、写真のデータや活動の内容を当課のメールアドレスまで送っていただければ、当課のフェイスブックで活動を紹介させていただきます。是非、ご連絡ください。

✉: zichi@city.matsuyama.ehime.jp

皆さんの「いいね！」を
お待ちしております。

Facebook まちづくり協議会情報局

検索



【QRコード】

第16回 まちづくりで輝く人 地域で活躍している人を紹介します



五明地区まちづくり協議会
産業部長 逸見 幸也さん

経歴・趣味

油絵・イラスト・卓球
デザイン会社勤務からイラストレーター、陶芸家を経て現在にいたります。

今回の表紙で紹介した五明地区まちづくり協議会の産業部長として活躍されている逸見幸也さんを紹介します。

【五明地区はどのようなところですか？】

松山から車で20分ほどの場所に位置し、高縄山のもとにあるため、山の自然に恵まれたのどかな住みやすい地区です。

しかし、近年は年ごとに地区の人口が少なくなってきています。

【どのような活動に取り組まれていますか？】

五明ではたくさんの農作物が採れるので、地区の物産品の開発を行ったり、五明地区内外の様々な人たちの交流の場作りをしつたりしています。最近では、古民家を再利用した「ふれ愛の館」で開催する企画の考案や展示品の作成などにも力を入れています。

【まち協で活動して良かったことを教えてください。】

活動時間を作ることが大変でした。しかし、まち協は様々な人たちがつながっていることで、交流を広げることができ、その交流が自分の財産になりました。また、人とのつながりが、自分の活動の自信にもつながっています。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

地区内外の多くの人に五明の良いところを改めて気づいてもらえるよう努力したいです。そのために、五明の自然を守りつつ、地区独自の物産品やイベントを企画していきたいです。

今後、地区に新しい文化を取り入れ、人々の交流を生み出し、最高の化学変化を起こしたいです。